

令和4年度第2回 静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会会議録

- 1 日 時 令和4年11月30日(水) 19時15分～21時00分
- 2 場 所 静岡市役所 9階 特別会議室
- 3 出席者 (委員) 宗会長、坂ノ上副会長、飯塚委員、石切山委員、
勝山委員、齋藤委員、不破委員、前坂委員、
望月信吾委員、望月千夏委員、望月亮委員、森藤委員
(事務局) 地域包括ケア推進本部 繁田次長、森川次長補佐兼係長、
草谷主査、北原主任保健師
- 4 傍聴者 なし
- 5 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - (3) 議事
 - ①報告事項
 - ・令和3年度静岡市認知症初期集中支援推進事業実績の詳細について
 - ・他政令市の認知症初期集中支援チームの状況について
 - ②協議事項
 - ・認知症初期集中支援チームについての地域包括支援センターへのアンケート調査について(案)
 - (4) 閉会
- 6 会議内容
 - 開 会 会議成立の報告(委員12名中12名の出席により会議は成立)
 - (1) 報告事項
 - ①令和3年度静岡市認知症初期集中支援推進事業実績の詳細について
 - ②他政令市の認知症初期集中支援チームの状況について

(事務局)

報告事項 令和3年度静岡市認知症初期集中支援推進事業実績の詳細について説明

(望月亮委員)

2点うかがいたいことがあります。

1つ目は4例のうち3例は前回の会議の時に提示いただいた事例で、もう1例が年度末の事例ですね。この2年間で静岡市が対応した事例は4例ということでしょうか。

2つ目の質問は、1例目は受付からケース終了まで145日、受付からモニタリング終了まで200日これは長いのか、短いのか。

地域包括支援センターが対応した場合は、これくらいかかるのでしょうか、望月信吾委員どうでしょうか。

(望月信吾委員)

本人が拒否をしているとか、理解が難しい状態であると、時間をかけ信頼関係を築きながら医療や介護に繋がります。信頼関係を作るのに一番時間をかけるので、時間はかかると思います。

ただし、初回訪問まで32日かかっているのもう少し縮めることはできるのかなと思います。

(望月亮委員)

認知症初期集中支援チームに乗せるに際して、地域包括支援センターが行う事務手続きが多いと指摘されています。地域包括支援センターが単体で行う時と、認知症初期集中支援チームで行う時の事務手続きの煩雑さがどれくらい違うのか教えてください。

(事務局)

この後、「他政令市の認知症初期集中支援チームの状況について」の説明がありますが、認知症初期集中支援チームで行う場合の方が、地域包括支援センターが総合相談で行う場合に比べて、ケースの状況を毎月、実施報告として提出等で事務量は多くなります。

(望月亮委員)

支援が終了したら事務手続きも終了でしょうか。

(事務局)

支援終了後、モニタリング結果報告を行い終了します。

(事務局)

報告事項 他政令市の認知症初期集中支援チームの状況について説明

(前坂委員)

この前、駿河区の地域包括支援センター運営部会で意見を聞いてきました。様式が多いのが負担になって、躊躇しています。

代わりに、静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」が非常に機能していて、そこがチームに相談する前の段階で相談を受けていて解決していると聞いたのですが、どのくらい相談件数があるのか、把握していますか。

(事務局)

相談件数は今資料を持っておりませんので、正確な数字は分からないのですが、後ほど改めてご紹介いたします。

(飯塚委員)

基本的な質問ですが、様式が各市町によって違うのですが、標準書式があるのでしょうか。

(事務局)

初期集中支援チームについて、国への報告が必要になるため、様式の数が多くなる傾向にあります。標準書式はありません。

(飯塚委員)

国からこの内容を報告するというような基準はありますか。

(事務局)

県を通じて報告の依頼があります。報告の様式は定められておりますが、市で使用している様式は、報告に必要な内容を記載することができる様式を使用していると思います。

(望月亮委員)

この調査から静岡市及び浜松市も実績が極めて低調であるということが分かりました。

他の政令市では活発に事業が展開されていますが、静岡市の活動が少ないことについては委員会で評価しなければならないと思います。

活動が少ない原因は、様式が煩雑であることと、「かけこまち七間町」の存在があることが推測されます。

また、支援の質を前回問題としましたが、認知症初期集中支援チームと総合相談とどちらが質が高いのか、重要な問題だと思いますが評価の方法がありません。

最初の事例の初回訪問から32日、受付終了まで145日、この支援の質について考察ではふれられていないため、そのまま承認するわけにはいかないと思うのですが

市としてどうお考えですか。

(事務局)

認知症初期集中支援チームの活動について、活動しにくいということは地域包括支援センターから伺っております。そのことについては、資料3の地域包括支援センターへアンケートを行う予定です。後ほどご説明いたしますが、そちらの内容から問題があれば改善していく方向で考えております。

先ほど、望月亮先生がおっしゃった、どう評価するかについては、評価の方法を明確にご説明ができませんが、活動できない原因があるのであれば、それを解決してチーム員活動しやすくなるようにしていきたいと考えております。

(石切山委員)

人口が市町によって違うので、件数の差があるとは思いますが、その中で総合相談か認知症初期集中支援チームのどちらかで対応するわけですが、各市町の認知症初期集中支援チームで対応するまでの流れが他市と静岡市で違いはあるのでしょうか。

(事務局)

総合相談と認知症初期集中支援チームを振り分ける方法ですが、チームを医療機関と地域包括支援センターにおいているところがあるため、個別にきいていかないと分からない部分があります。静岡市と同じく地域包括支援センターにチームが置いてある、札幌市と名古屋市の課題をみると、チームと地域包括支援センターのどちらで対応するか線引きが難しいということですので、判断するのは難しい部分があるのだと思います。

(石切山委員)

地域包括支援センターに相談すれば、初期集中支援チームが動けるといような地域への周知が必要だと思います。地域の住民の方がどれだけ知っているのかヒントになってくると思います。最初は民生委員とか近隣の方の一声がないと、家族も動けないと思いますので、地域包括支援センターに相談すれば認知症初期集中支援チームが対応するという、周知の視点もあるのかと思いますので発言させていただきました。

(望月信吾委員)

この事業は10年くらい前にできていて、この事業ができた要因は地域包括支援センターが認知症支援の力がなかったことと、福祉が医療に繋げる力がまだなかったということがありました。今はそのあたりがうまくいっており、もしかしたら一つの考え方として認知症初期集中支援チームがいないという考え方もできるのかもしれないと思いました。ただ認知症は難しいケースがたくさんあるので、地域包括支援センターがどういう事業があれば難しいケースに対応ができるのか、そういう方向から考

えてもいいのではないかと思いました。

(望月亮委員)

今の望月信吾委員の意見に賛成で、この間まではこの事業がいいのか悪いのか、ということばかり考えていました。

資料2の資料は大変アグレッシブで施策を問うもので、もしかしたら静岡市の件数が少ないのは、努力が足りないのではなく、すでにこの事業を必要としなくなっているからなのかもしれません。

先ほど薬剤師会の前坂委員のおっしゃった、「かけこまち七間町」の存在がいい例ですし、望月信吾委員がおっしゃったように、医療や福祉の繋がりができていて、以前宗会長がおっしゃたように、清水区では医療や福祉の繋がりが進んでいます。

あと、支援の質のことですが、4例のうち2例目と3例目の説明がありませんでしたが、受診につながらない、支援を拒否するという事例で手をこまねいているうちに終わってしまったというものだと思います。

もし、この事例を医師会の地域包括支援センターで対応していた場合、地域包括支援センターの職員は相談室部長からお叱りをうけることでしょうか。質の低い支援だったと言わざるを得ないからです。静岡市ではこの制度を使ったことによって、質の高い支援を受けられなかった、逆に認知症初期集中支援チームを使わないで解決できることがたくさんあるのだと捉えれば4件という数字は悲観するものではないかというまとめ方はできると思います。数字が低いのをあげつらうばかりではなく、静岡市の特質が資料2から見えてくると思います。

(事務局)

協議事項 認知症初期集中支援チームについての地域包括支援センターへのアンケート調査について (案) 説明

(宗会長)

このアンケートの結果には大変興味があります。楽しみにしたいと思います。

(望月亮委員)

この質問は地域包括支援センターには失礼です。例えば、総合相談にしたら対応できた事例を1例必ず提出させるというのは委託をお願いしている包括に対して失礼だと思います。書類の削減以外に「その他」しか選択がないというのは、いかにも芸がありません。

例えば煩雑だから日数がかかっており、自分たちの知っている、医療職や介護職で対応すればすぐできるものを、様式に定められた人たちに連絡を取らなければならないから時間がかかる、そういったことを反映されている選択肢がなく、自分で回答を書かせるのは失礼です。左側の質問はまだしも、右側の選択肢はいかがなものかと思

います。

繋がっていないケースを総合相談から認知症初期集中支援チームに切り替える基準を書かせるというのも、もう少しフラットな目線で質問した方がいいと思います。

宗会長がおっしゃったように、結果には非常に興味があります。地域包括支援センターがこの事業をどう考えているのか本音を聞きたければ、このような高圧的な質問ではだめだと思います。

(事務局)

ありがとうございます。こちらのアンケートの内容と回答は係内で検討し、地域包括支援センターがどのように考えているか知りたいとの思いから、このような内容になりました。

望月亮先生がおっしゃったように、地域包括支援センターに対して、失礼にならない内容を再度検討いたします。

認知症初期集中支援チーム検討委員会で内容をご検討していただいて地域包括支援センターに依頼しようと思っていましたので、こちらの事前準備が不足していて申し訳なかったのですが、再度内容を検討したいと考えております。

(宗会長)

地域包括支援センターがどう考えているか知りたいという事であれば、もう少し工夫してアンケートを作成すればいいかと思います。

(勝山委員)

私も常々、地域包括支援センターに訪問して認知症初期集中支援チームについてのご意見を聞きたいと考えていました。

機能が十分発揮されていないということを聞いていたので、今回アンケートをこのタイミングで行政の方でも、検討されていたということが分かりよかったです。

今回「認知症初期集中支援チームについての地域包括支援センターへのアンケート」意見票というものがありますが、こちらにまた皆様から何かいいご意見があればいいなと思いました。

私も改めて、勉強させていただきました。ありがとうございました。

(望月亮委員)

この資料2を地域包括支援センターに開示することができないのでしょうか。素晴らしい資料だと思うのですが、資料を示して、静岡市の状況について皆様はどうお考えでしょうかと、そこから宗会長がおっしゃったようにこの事業を、よりよくするためにはどうしたらいいのでしょうか、というような質問にしたらどうでしょうか。この資料を地域包括支援センターに開示することはできますか。

(事務局)

この資料については、情報公開する予定ですので、開示することはできます。

(齋藤委員)

アンケートに関してご意見があったように、地域包括支援センターが認知症初期集中支援チームの支援に期待することを盛り込んでみるのもいいかなと思いました。

(宗会長)

いいと思います。それは盛り込んでいただきたいと思います。

(望月信吾委員)

先ほどの齋藤委員の意見に似ているのですが、事業を前提でアンケートをとっていますが、それプラス認知症初期集中支援チームをどうしていくのではなくて、認知症と困難事例をどう対応していくのか、その視点から事業を見直し、事業を考えてもいいと思います。

(宗会長)

これで本日予定した事項は終了です。全体を通してご意見があれば伺いたいです。

(事務局)

先ほどご質問のありました、「かけこまち七間町」の相談件数を報告させていただきます。10月までの実績ですが275件の相談がありました、月の平均は39件となります。

(宗会長)

ありがとうございます。わりと相談件数が多いですね。

(勝山委員)

「かけこまち七間町」の相談件数の報告がありましたが、個人的にたまたま立ち寄って相談に来ている方や、専門機関からの相談などの具体的な細かい内容はわかりますか。いい場所にありますので、ふらっと立ち寄った方が、足を運んでいただければいいなと思っております。皆さんにいろんな機会でも知らせていただいておりますので、そのような方にもお伝えしていただければと思います。

(事務局)

勝山委員は以前「まち歩きツアー」でいらっしゃっていただいたかと思います。「かけこまち七間町」は、「おまち」に認知症の総合的な支援の拠点として開設しました。ふらっと立ち寄っていただけて相談していただくのも一つの目的です。275件のう

ち相談の中には買い物のついでに来た方や、「かけこまち七間町」を知って相談に来てくれる方もいると思います。現在「かけこまち七間町」をPRしている最中で、気軽に相談できる場所を目指して運営していきますので、ご協力いただければと思います。

(宗会長)

建設的な意見交換ができたのではないかと思います。

これを聞き入れてもらえれば、認知症初期集中支援チームががうまく発展してのではないかと個人的に思いました。

本日より予定した事項は、以上となります。

○閉会

■会議録確認署名

「令和4年度第2回静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会 会議録」について、
内容を確認しました。

静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会 会長

氏名(署名)

宗幹之